

城南家保ニュース Vol.23-1 2

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/179/>



平成 24 年定期報告書について

前号でお伝えしたとおり、平成 24 年定期報告についての説明会を開催しました。説明会は計 13 回実施し、約 500 名の方が出席され、報告書を提出していただきました。関係者の方々の御協力に感謝申し上げます。

また、出席できなかった方については、農場最寄りの市町村畜産担当課又は家畜保健衛生所へ提出していただいているところです。

ほとんどの方に提出していただいている状況ですが、まだ提出されていない方は、家畜保健衛生所が随時立入っていきますので、その際には対応をお願いいたします。

取りまとめましたデータについては、市町村へお返す予定です。

定期報告は、平成 24 年分はこれで終わりですが、これから毎年、年に 1 回提出が義務づけられておりますので、来年からの報告についてもよろしくをお願いいたします。

飼養衛生管理は常日頃から遵守することにより、疾病の発生予防や生産性の向上が期待できます。発生予防は、地域ぐるみで対応しなければ効果がありません。地域一帯となって防疫対策に取り組みましょう！

市町村担当者や関係団体の方も農場に入られる際には、必ず長靴の消毒をお願いいたします。



牛の異常産ワクチンを接種しましょう

牛のアルボウイルスについて

アルボウイルスとは、蚊、ヌカカやダニなどの吸血昆虫によって媒介されるウイルスの総称です。

牛のアルボウイルスには、異常産をおこすアカバネ病、アイノウイルス感染症、チュウザン病等があります。これらは、母牛に感染してもほとんどが無症状ですが、血液を介して胎子に感染し、異常産子や死流産を起こします。

昨年 8 月下旬以降、島根県等においてアカバネウイルスの生後感染による子牛の起立不能が多数報告されています。

県内全域でも、8 月以降アカバネウイルスの上昇が確認されています。引き続き、母牛へのワクチン接種による予防やウイルスを媒介する吸血昆虫の防除に努めて下さい。



牛の異常産ワクチンについて

- 異常産3種混合ワクチンの申し込み時期が迫っています。
 - ・アカバネ病・アインウイルス感染症・チュウザン病を予防します。
 - ・接種時期:4~5月、遅くとも6月までに接種。
 - ・初めて本ワクチンを接種する牛は4週間隔で2回、昨年接種している牛は1回接種。
 - ・免疫を有する牛がある一定以上いると、その地域は病原ウイルスの広がりを抑えることが可能です。地域一帯となってワクチンを接種しましょう！

産業動物獣医師研修会を開催しました

平成24年1月11日に城南家畜保健衛生所研修館において、球磨地域産業動物獣医師技術研修会を開催しました。

内容は、①家伝法改正の概要及び飼養衛生管理基準、②監視伝染病発生状況、③病性鑑定について、④要指示薬の取扱及び薬剤残留の防止、⑤死亡牛適正処理についてでした。意見交換も行われ、活発な論議が交わされました。



アジア諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	畜種	型
口蹄疫	台湾（金門県）	豚	O型
	中国（寧夏回族自治区）	牛	O型
高病原性 鳥インフルエンザ	香港	野鳥	H5N1
	ベトナム	家きん	H5N1
	ネパール	家きん	H5N1
	インド	家きん	H5N1
	台湾	家きん	H5N2

（2012年2月発生報告）

家畜の異常を発見したら、家畜保健衛生所までご連絡下さい！